

## 2025 国際教養科 NEWS 7月 ③

## 2年国際教養科 イギリス語学研修 7・8日目

㈱ISA 高崎支店の教育旅行添乗員のバレスター・あゆみさんが毎日送ってくださっている報告書の最終号です。

## 【長野西高等学校 海外語学研修 7日目報告書】

研修7日目。ラスキンカレッジ最終日。5日間一緒に学んだクラスメイトと受ける最後のレッスンです。「新しいスポーツを考える」というテーマで、プレゼンテーションを行いました。ポスターを作成し、原稿を考え、グループごとに発表をしていきます。この共同作業を通して、他国の生徒と距離を縮めることができました。最初は「怖い」と思っていた生徒も、「話してみれば普通に仲良くなれる」と新たな気づきを得ることができました。自分の英語力に自信をなくし、先生の指示が分からない、頭では分かっているのに話すことができないこともありました。何度も逃げ出したい、辞めたいと思いつつも誰一人逃げずに挑み続けることができました。「良いことばかりじゃなかったけど、勇気を出したことは後悔していません。」と綴ってくれた西高生。本番はこれからです！ここで学んだことを、日本に帰ってからどう行動に移すのかを考えること。そして目標に向かって行動し続けることで、この研修は初めて目的を達成します。お互いに連絡先を交換した、異国の地に住む友人と再び会うころには一回りも二回りも成長した大人になっていることでしょう。



一緒に授業を受けたクラスメイト

爽やかな風が吹く午後、コッツウォルズワイルドライフパーク&ガーデンズを訪問しました。動物を身近に見学することができる動物園で、ちょっとだけ童心に返って楽しむことができました。明日はオックスフォードを離れてロンドンに向かいます。以上、7日目のご報告です。

パークの動物たちと



## 【長野西高等学校 海外語学研修 8日目報告書】

研修8日目は雨とともに始まりました。お世話になったラスキンカレッジに別れを告げて、ロンドンへ。道中、徐々に雨足が強くなります。最初の訪問地、ロンドンアイ（観覧車）に着くころには大雨に…思わぬハードな幕開けとなりました。ですが、生徒たちはそんな状況にも柔軟に対応し、まずはロンドンアイ真下からのテムズ川クルーズに出発。雨に煙るロンドンの街並みや歴史的建造物を船上から眺めます。ロンドン塔の堅牢な石造り、意外に素朴なロンドンブリッジ、そして堂々たるタワーブリッジ。歴史と現代が交差する街並みを川面から眺め、教科書では得られない歴史と文化を肌で感じました。

クルーズ船を降りて、次に向かったのはビッグベン。実は“ビッグベン”とは、時計台ではなく内部にある大鐘の愛称で、建物全体はエリザベス・タワーが正式名称です。隣接する国会議事堂（ウェストミンスター宮殿）の一部として建てられ、現在も国会の始まりを告げる鐘としての役割を担っています。精緻なゴシック様式の装飾と威厳ある佇まいに、（大雨の中ではありませんでしたが）カメラを向ける手にも思わず力が入ります。

その後トラファルガースクエアに移動して、自由時間へ。多くの生徒がナショナルギャラリーを訪れました。言わずと知れた、世界有数の西洋絵画コレクションを誇る美術館。13世紀から20世紀初頭までの西洋絵画が収蔵され、ダ・ヴィンチ《岩窟の聖母》やフェルメール《ヴァージナルの前に座る若い女性》、そしてゴッホ《ひまわり》など、教科書で目にする名画がずらりと並びます。ナショナルギャラリーを出る頃、ようやく日差しが回復してきました。少し暑いと感じる夏の気候に様変わり。同行してくれたアクティビティリーダーのAiliは「これぞまさにイギリスウェザーだね」と教えてくれました。この雨の中傘をささずに私たちを先導してくれました。（彼女曰く、これがプロのイギリス人だそうです。本当…？）

まぶしい陽射しと青空のもと、ホテルへ向かうバスに乗り込みます。この研修は、本当に最後の時となりました。この8日間で、語学や知識に加え、自ら限界に挑み、壁にぶつかり、仲間と支え合いながら困難を乗り越える力を身につけました。与えられるのを待つのではなく、自ら一步を踏み出し、環境を切り拓く行動力と、自分で考え、判断し、動く力こそが、これからの時代を生きるために必要な“真の学び”です。しかし、この研修はゴールではありません。むしろ、ここからが新たなスタートラインです。帰国後、イギリスで得た経験をどう生かし、日々の学びや将来の進路につなげていくかが、これから生徒たちに求められる挑戦です。この一週間で得た気づきと成長を、学校生活の中で、そしてこれからの人生の中で、どれだけ形にできるか。困難を乗り越えてきた西高生です。一人ひとりがこの研修を通して手にした“生きる力”を武器に、次のステージに向かって挑戦し続けてくれることでしょう。

明日は移動日となりますので、研修の報告書はこれが最後となります。改めてこの研修を支えてくださった皆さま。本当にありがとうございました。以上、8日目のご報告です。



